

別表3 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた自立活動の充実及び発達段階に応じたキャリア教育の推進</li> <li>・基本的な感染症防止対策を踏まえた教育活動の充実</li> </ul>
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、県の事業により自立活動の充実を図ることを目的として、「外部専門家活用事業」が始まり、本校では、大学から講師を招いて教員が学ぶ場を設けた。講師による授業見学後、年間4回にわたって授業改善の経過について継続的に指導と助言を受けた。自立活動や作業学習などの授業を見直し、発達段階に応じたよりよい指導を目指して、教員の意識が高まった。</li> <li>・令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、換気を心掛けながら教育活動を実施してきた。今年度は、本校の二大行事である、運動会や穂の原祭りを参加人数の制限を設けず、実施した。交流及び共同学習についても、相手方と実施に向けて状況を確認したうえで、各部署で実施することができた。</li> </ul>
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も引き続き、「外部専門家活用事業」を活用して教職員が学ぶ機会をもち続けると同時に、校内職員が授業参観をし合うことで、児童生徒一人一人に合った指導力の向上に努めていく。また小学部から高等部までの発達段階を見据え、部を超えた情報共有に努めることで、系統的な学びの場となる学校づくりを目指したい。</li> <li>・今後も、手洗いやうがいなどの清潔面の指導の充実や、換気などの学習環境の適切な設定をしていく。積極的に学校医からの助言を受けることで、児童生徒の安全、安心な学校生活を進めていく。</li> </ul>
<p>その他 (学校関係者評価委員会から出された主な意見、要望)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での授業参観や教材の共有などにより、自身の授業改善につなげたことで、生徒たちの成長や技能向上が促され、学校全体の教育の質を向上させる大きな成果が得られたと感じられた。</li> <li>・専門家を活用するなどしながら、生徒の自立に向けた教育をしている。体のマッサージも体の感覚や部位を意識した教材ややり方に工夫があるとよい。身体の面では、作業療法士の関与も必要である。</li> <li>・健康の保持には、「清潔の概念」や「性教育」も大事。心理的な安定については、不安を持つ子が多いので、意欲向上のためにも「楽しいこと」を取り入れるとよい。</li> <li>・非言語のコミュニケーションも大切である。</li> <li>・特に小中学部は個に応じた自立活動を重視していると思う。この時期に児童生徒の得手不得手、好き嫌いを見極め、次の生活ステージの支援者に伝えるとよい。高等部はそれらを生かしてICTを効率的に活用してより豊かな生活を追求してほしい。</li> <li>・作業実習は、繰り返して行うことに意味がある。その中にも楽しさが必要。しっかり就労につながるよう御指導願う。</li> <li>・各学部、個に寄り添った学習の取組がなされている。</li> <li>・いろいろなタイプの子どもに対して「個」を意識した支援をしてほしい。タイプが違えば支援も違う。卒業後、学校で学んだことが生きる取組や、もっと親を巻き込んでの子どもへの支援をしてほしい。</li> <li>・中学部の清掃活動ですが、少しずついろいろな事業所が作業として取り入れている。取組をいろいろな授業で活用してほしい。</li> <li>・教育の場で活用した工夫や生徒への働きかけが、就労の場での適応に役立つことがあるので、引き続き取組を継続してほしい。</li> <li>・今年度できるところからさまざまな取組に対して積極的にチャレンジを進めていることに応援の気持ちでいっぱい。</li> <li>・感染対策については、どのフロアも窓が少し開けられており、よく気を配っている。</li> <li>・災害時メール配信訓練について返信率が低い点の原因は判明しているのか。返信率を上げるために対処策を工夫してほしい。</li> <li>・災害時に子どもたちの避難経路となる教室や廊下の整理整頓に努めてほしい。</li> <li>・児童生徒の安全・安心を第一に考えながら規則正しい生活を進めていくことは大事なこと。その基本を軸として体験的な活動、地域交流を積極的な活動をしていると思う。これからも保護者、支援者、地域に安心される学校を目指してほしい。</li> </ul>
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<p>構成・・・15名 (学校評議員4名、保護者代表4名、校長、教頭2名、事務長、部主事3名) 評価時期・・・2月</p>